

平成 30 年 度

八代市議会建設環境委員会記録

審 査 ・ 調 査 案 件

1. 所管事務調査 1

平成 3 1 年 2 月 2 1 日（木曜日）

建設環境委員会会議録

平成31年2月21日 木曜日

午前10時00分開議

午前11時46分閉議（実時間6分）

○本日の会議に付した案件

1. 所管事務調査

- ・都市計画・建設工事に関する諸問題の調査
- ・生活環境に関する諸問題の調査
（管内調査（県道八代不知火線横江大橋、北部中央公園、中央ポンプ場））

○本日の会議に出席した者

委員長	中村和美君
副委員長	百田隆君
委員	太田広則君
委員	田方芳信君
委員	谷川登君
委員	堀徹男君
委員	山本幸廣君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者

君

○説明員等委員（議）員外出席者

建設部長	松本浩二君
建設部理事兼 下水道建設課長	福田新士君

○記録担当書記

上野洋平君

（午前10時00分 開会）

○委員長（中村和美君） みなさん、おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者

あり）それでは、定刻となり定足数に達しましたので、ただいまから、建設環境委員会を開会いたします。

◎所管事務調査

- ・都市計画・建設工事に関する諸問題の調査
- ・生活環境に関する諸問題の調査

（管内調査（県道八代不知火線横江大橋、北部中央公園、中央ポンプ場））

○委員長（中村和美君） 本日は、当委員会の所管事務調査であります都市計画・建設工事に関する諸問題の調査、及び生活環境に関する諸問題の調査に関連して、県道八代不知火線横江大橋、北部中央公園及び中央ポンプ場について管内調査を行いたいと思います。

それでは、本日の行程について、執行部から説明をお願いします。

○建設部長（松本浩二君） みなさん、おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）建設部の松本でございます。本日の管内調査は大変お世話になります。着座にてこれからの行程を説明させていただきます。

○委員長（中村和美君） はい、どうぞ。

○建設部長（松本浩二君） まず、県道八代不知火線横江大橋の災害復旧工事の完了状況を御視察いただき、次にその県道八代不知火線を南に進み、八代大橋の手前から右に折れたところの、新開町の中央ポンプ場では、施設の老朽化に伴います改築更新事業を御視察いただきます。その後、田中西町の北部中央公園内に計画しております、北部中央雨水調整池整備事業を御視察いただく予定としております。

現地に担当部署の職員が待機しておりまして、横江大橋では倉光総括審議員兼次長、ポンプ場及び調整池は下水道建設課長並びに担当者のほうから説明をさせていただきます。時間といたしましては、支所を出発しまして、1時間40分程度を予定しております。こちらに11時5

0分頃にお帰りいただく予定でございます。

以上です。よろしくお願いいたします。

○委員長（中村和美君） ただいま説明がありました行程について、何か質問等はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（中村和美君） ないようでしたら、管内調査のため、しばらく休憩いたします。

（午前10時02分 休憩）

（午前11時42分 開議）

○委員長（中村和美君） それでは、休憩前に引き続き、建設環境委員会を再開します。

ただいま、管内調査いたしました県道八代不知火線横江大橋、北部中央公園及び中央ポンプ場について、現場でそれぞれ質問等がありますが、何か質疑・御意見等はありませんか。

○委員（太田広則君） 最後に見させていただきました北部中央公園内調整池、いよいよ工事が始まるということですね、待望の調整池ができるということで期待をしておりますが、ごらんのとおり住宅街でもありますし、それから公園の横ということでね、地域住民が非常にこの21メートルも掘るとなると、非常に危険だと逆に、それと夜は真っ暗ですしね、どうか無事故で——地域住民の安全確保ということでですね、危険な地域に入らないようなところも含めて、無事故でですね、工事を終えていただきたいというふうに要望しておきます。

○委員長（中村和美君） ほかがございませんか。

○委員（山本幸廣君） 横江大橋の説明聞いた中で、あとの残渣の処理をいま——撤去をやっておられるわけですが、これについてもやはり安全対策をですね、きちとした中で進めていただければなというふうに思います。

新開の中央ポンプもですけども、頭上等を一ずっと中に入ったところ、足場関係含めてで

すけども、これもやっぱ安全管理をですね、諸問題の調査の中でも問題はないわけではありますけども、安全対策・管理に努めていただきたいと思います。いま、太田委員言われましたように、中央の公園の調整池なんですけども、これが起工式なされて、深さが21メートルということでありますので、ここあたりはいろんな児童等——児童公園でもありますので、これについても重ねて安全対策と工程を、しっかりとした工程の中で進めて完了するようにしていただければと思います。

もう質疑ありませんので、要望で。

○委員長（中村和美君） いま、両議員からございましたが、21メートルちょうのは、基礎じゃないだろうかというふうに思いますが、担当課どなたか——

○建設部理事兼下水道建設課長（福田新士君） お疲れさまでした。（「お疲れさまでした」と呼ぶ者あり）資料の7、一番後ろの面を開いていただければ、21メートルの数字が表示されています、わかりますと思いますが、杭長が21メートルということで、地盤面からは約30メートルほど下まで杭をおさめますので、支持地盤が約30メートルほどにあります。そういうふうに理解していただければ——掘削にしましては上部の調整池本体工事で10メートルほど、ということになります。

以上でございます。

○委員長（中村和美君） ということでございます。

○委員（太田広則君） 21メートルというのは、あくまでも杭のですね。まあ10メートルでも危険ですので、よろしくお願いいたします。

○委員長（中村和美君） 要望でございます。ほかありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（中村和美君） ないようでしたら、以上で、管内調査を終了します。

そのほかに当委員会の所管事務調査について何かございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(中村和美君) なければ、以上で本日の委員会の日程は、全部終了いたしました。これをもって、建設環境委員会を散会いたします。

(午前 11 時 46 分 閉会)

八代市議会委員会条例第 30 条第 1 項の規定により署名する

平成 31 年 2 月 21 日

建設環境委員会

委員長